



Anniversary Plan



～ 人生の節目～



赤ちゃんの誕生を祝い、健やかな成長を願う

お宮参り

お宮参りは生まれた赤ちゃんが、
無事に誕生したことを氏神様にご報告し、
健やかな成長と幸せを願う大切な行事です。



お宮参りの意味

赤ちゃんが生まれて約1ヶ月後に
氏神様のもとへお参りし、
「無事に生まれたことへの感謝」と
「これからの健やかな成長」を祈願します。
赤ちゃんを地域や社会の一員として
お迎えする大切な節目です。



いつ行うの？

生後 約1ヶ月頃

※男の子は生後31日目～32日目、女の子は生後32日目～33日目ですが、
ご家族のご都合に合わせて行います。

どこで行うの？

赤ちゃんの氏神様（地元の神社）へお参りします。

誰と行くの？

赤ちゃんのご両親、祖父母など
ご家族揃ってのお参りが一般的です。

ご祈祷時の赤ちゃんの服装・持ち物

服装

赤ちゃんには、
祝い着（掛け着）を掛けます。
性別に関係なく、
華やかな柄のものが一般的です

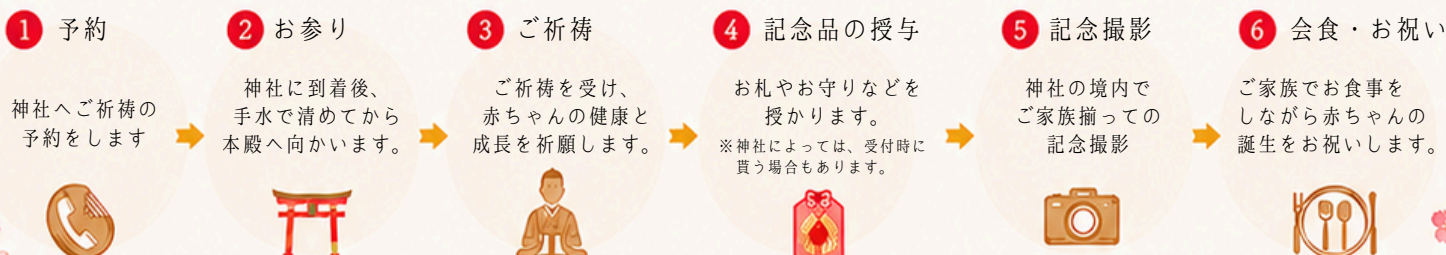


持ち物

- ・初穂料（のし袋に入れて）
- ・赤ちゃんのお世話に必要なもの
- ・母子手帳・保険証・乳児医療証
- ・カメラやスマートフォン



お宮参りの流れ



一生に一度の大切な記念日を
心に残る一日に

ご家族にとってかけがえのない節目となるお宮参り。
美味しいお料理と心を込めたおもてなしで、
思い出に残るひとときをお手伝いいたします。



一生食べ物に困らないように、
健やかな成長を願う伝統行事

お食い初め

(百日祝い)

生後
100日頃
にお祝いを
します

お食い初めは赤ちゃんが生まれ
100日目を迎えるころに行うお祝いです。
「一生食べ物に困らないように」
「健やかに成長しますように」という
願いを込めて、赤ちゃんのこれからの
人生をやさしく見守り、家族みんなで
お祝いします。



お食い初めの意味

赤ちゃんは生後しばらくの間、母乳やミルクだけで成長します。
その後、食べ物を食べるようになる大切な節目が「お食い初め」です。
食べる真似をすることで、食べ物への感謝や命のつながりを学び、
これからの健やかな成長を願う行事です。



お祝い膳の献立



尾頭付きの鯛

「めでたい」の語呂合わせ。
お祝いに欠かせない一品。



お赤飯

邪気を払い、
幸せを願うお赤飯。



蛤のお吸い物

蛤は二枚貝で一对の貝殻。
良縁や家族の絆の象徴。



煮物

根菜などの食材で、将来の
見通しがよくなるように。



梅干し・
歯固めの石

梅干しで歯茎を引き締め、
丈夫な歯が生えるように。
歯固めの石で歯を丈夫に。

1 準備

お祝い膳を整え、
赤ちゃんを膝に
抱きます。



2 儀式の始まり

年長者が、
赤ちゃんに祝い箸で
食べる真似をさせます。



3 食べる真似

「一の膳」から
「五の膳」までを
順に行います。



4 歯固めの儀式

歯固めの石に箸をつけ
赤ちゃんの歯茎に
やさしく触れます。



5 儀式の終了

食べる真似が終わったら、
家族みんなで楽しく
お食事をします。



※全部食べさせる必要はありません。赤ちゃんの機嫌や体調に合わせて、無理のない範囲で行いましょう。地域によって儀式内容は異なります。

一生に一度の大切なお祝いを、
思い出に残るかたちで。

お子様の健やかな成長を願い、
ご家族であたたかい時間をお過ごしください。

ご用意いただくもの

- ☐ お祝い膳（または仕出し料理など）
- ☐ 祝い箸
- ☐ 歯固めの石（または小石をきれいに洗ったもの）
- ☐ 赤ちゃんの衣装（ベビードレス・袴など）
- ☐ カメラやスマートフォン



赤ちゃんの健やかな成長を願う

初節句

～はじめての節句をお祝いしましょう～

赤ちゃんが生まれて初めて迎える節句を「初節句」といい、「健やかに育ちますように」「厄災をはねのけ、幸せな人生を歩めますように」という願いを込めてお祝いする大切な行事です。

初節句は生後初めて迎える節句（3月3日・5月5日）にお祝いします

女の子

桃の節句

3月3日

桃の花のように美しく、健やかな成長と幸せを願う日です。古くから女の子の健やかな成長を祈る行事として、親しまれてきました。

お祝いの意味

美しく優しい心を持った、幸せな女性に育ちますようにという願いを込めます。

主な飾り・お祝い

- ・ひな人形（お内裏様とお雛様）
- ・桃の花、ひなあられ、白酒、ちらし寿司など

男の子

端午の節句

5月5日

強くたくましく、災いを乗り越え、立派に成長してほしいという願いを込めて、古くから男の子の節句として受け継がれてきました。

お祝いの意味

強くたくましく、勇気と優しさを持った立派な人に育ちますようにという願いを込めます。

主な飾り・お祝い

- ・五月人形（兜や鎧）
- ・こいのぼり、菖蒲、柏餅、ちまきなど

家族そろってお祝いしましょう

初節句は、赤ちゃんの成長を家族みんなで喜び、これからの幸せを願う大切な機会です。記念写真を撮ったり、お食事会を開いたりして、思い出に残る一日にしましょう。

初節句のお祝いに

祖父母や親戚から贈られることが多い、節句のお祝い品

- ☐ ひな人形・五月人形
- ☐ お祝いの着（ベビードレス・被布・陣羽織など）
- ☐ 記念品・おもちゃ・絵本など



大切な思い出を残しましょう

初節句の記念写真は、赤ちゃんの成長の大切な宝物になります。かわいい衣装を着て、素敵な思い出を残しましょう。



お子さまの健やかな成長を願って

1歳の
おたんじょうび
おめでとう
ございます

初誕生祝い

大切な記念日を
ご家族みなさまで
お祝いください

～はじめてのお誕生日をお祝いしましょう～

生まれてから1年、たくさんの「はじめて」を乗り越えて、
迎える特別な日。これからの健やかな成長と幸せを願い、
「初誕生祝い（はつたんじょういらい）」を行います。



* 一升餅 (いっしょうもち)

「一生（一升）食べ物に困らないように」
「一生健やかに成長しますように」
という願いを込めて行う、伝統的なお祝いです。

お祝いの方法

一升（約1.8kg）の餅を風呂敷などに包み、
お子さまに背負わせて歩かせます。
立つことや歩くことの象徴として、これからの人生を応援します。



* 選び取り (えらびとり)

将来、どんな道に進むのかを占う、日本の伝統行事です。
用意した品の中から、お子さまが最初に選んだもので、
将来の才能や可能性を占います。

選び取りの品と意味（例）



そろばん・電卓
計算・商才の才能



えんぴつ・ペン
学問・文学の才能



お金・財布
財運・経済力



本
学問・知識



聴診器
医療・人を助ける人



はさみ
手先の器用さ・技術の道



カメラ
表現力・記録



スポーツ
運動神経・体力



音楽
感受性・表現力



パソコン
IT・情報・研究の才能

大切な記念日を、心に残る思い出に

お子さまの成長は、家族にとって何よりの宝物。
写真や動画に残して、かけがえのない一日をお楽しみください。



スタッフにお気軽にお声がけください。お手伝いさせていただきます。



お子さまの健やかな成長を願う日本の伝統行事

七五三

～これまでの成長に感謝し、これからの幸せを祈る日～

七五三は、子どもの成長の節目に神社へお参りし、これまでの健やかな成長を感謝するとともに、これからの幸せを願う大切な行事です。



七五三の意味と由来

昔は、医療が十分でなかった時代、子どもが無事に育つことはとても大切なことでした。

節目の年に神様へ感謝を伝え、これからの健康と幸せを祈るのが七五三の始まりです。



いつ行うの？

11月15日

が一般的です。
その前後の土日祝日に行うご家庭も多くなっています

※地域や神社によって異なる場合があります

髪置き(かみおき)の儀

それまで剃っていた髪を伸ばし始める時期。健やかな成長を願います。



3歳

女の子 男の子

数え年・満年齢
どちらでもOK。

袴着(はかまき)の儀

男の子が初めて袴を着けるお祝い。心身ともにたくましく育つことを願います。



5歳

男の子

数え年で行うのが一般的です。

帯解(おびとき)の儀

女の子がそれまでの付け紐の着物から帯を結ぶ着物へ、大人への第一歩です。



7歳

女の子

数え年で行うのが一般的です。

七五三のお祝いの流れ

- 1 衣装選び・着付け
- 2 神社へのお参り
- 3 記念撮影
- 4 お食事会

晴れ着に身を包み、準備を整えます。



家族そろってご祈祷を受け、成長を報告します。



神社やスタジオで家族の思い出を残します。



家族や親族とお祝いの席で楽しいひとときを。



お参りのときの持ち物

- ☐ 千歳飴
「長く、健やかに育ちますように。」という願いを込めた飴です。
- ☐ 初穂料
ご祈祷を受ける際にお渡しします。
- ☐ お子さまの衣装・草履・足袋
- ☐ カメラ
- ☐ スマートフォン



一生に一度の大切な記念日を、心に残る思い出に。

お子さまのこれまでの成長に感謝し、これからの幸せを願う七五三。ご家族のかけがえのない時間を、ゆったりとお過ごしください。



知恵と福德を授かり、心身ともに健やかな成長を願う

数え年で
13歳の春に
行う日本の
伝統行事です

十三参り

～13歳の春に行う大切な節目の行事～

十三参りは、数え年の13歳を迎えた春に、
知恵と福德を授かるために神社やお寺へお参りする行事です。
子どもから大人へと成長していく節目に、心身の健やかな成長と
将来の幸せを願う大切な日本の伝統行事です。



十三参りの意味



知恵を授かる



学業の成就や知恵を授かり、
物事を正しく判断し、
自分の道を切り開いていける
ようにと願います。

福德を授かる

災いを避け、幸せに生きていけるように、
健康や人とのご縁、将来の幸福を
祈願します。



いつ行うの？

一般的には、数え年で13歳を迎える
年の春（3月～5月頃）行います。
ご家族や地域によって前後すること
もあります。



どこで行うの？

学問の神様や、知恵・福德を授けて
くださる神社やお寺にお参ります。
ご縁のある神社やお寺、
家族でゆかりのある場所が
おすすめです。



なぜ「13」なの？

昔は「数え年」で年齢を数えていました。
赤ちゃんが生まれたときに、「1歳」とし、
お正月を迎えるごとに1つ年を重ねます。
そのため、現在の満年齢12歳は、
数え年では13歳となります。

虚空蔵菩薩の縁日とされる4月13日が
ご縁日とされており、知恵と福德を授かるために
「十三参り」が行われるのです。

十三参りの流れ（一般的な例）

① 準備

日程を決め、
服装と持ち物を
準備します。



② お参り

神社やお寺で参拝し、
知恵と福德を授かる
ご祈禱を受けます。



③ お守り・記念品授与

お守りや記念品を
いただき、成長を
お祈りします。



④ 記念撮影

成長の記念に
家族で写真を
撮ります。



⑤ お食事会など

家族でお祝いの食事を
しながら、成長を
喜び合います。



虚空蔵菩薩（こくうぞうぼさつ）とは？

虚空蔵菩薩は、13番目に生まれた仏様であり、
知恵と福德を司る菩薩とされています。
十三参りでは、虚空蔵菩薩のご加護をいただき、
学業の成就や未来の幸せを願います。



ご用意いただくもの（例）

- ☐ 初穂料（のし袋に入れて）
- ☐ 一文字写経
- ☐ 腕輪（十三仏・梵字）
- ☐ カメラ
- ☐ スマートフォン



大人としての新たな一歩を祝う
人生の大切な節目

成人式

～感謝を胸に、未来へはばたく日～

成人式は、子どもから大人へと成長したことを祝い、
社会の一員としての自覚と責任を持つことを誓う大切な儀式です。
これまで支えてくれた家族や周りの方々への感謝を伝え、
未来への希望を胸に、新たな人生のスタートを切りましょう。

「二十歳の
自分への誓い」
を胸に、輝く未来へ
踏み出す日です。



成人式の意味

成人式は、古くは「元服（げんぷく）」の儀に由来します。

元服は、男子が成人として認められた儀式で、
平安時代から続く日本の伝統行事です。

現代では、満20歳を迎えたことを祝い、社会の一員としての
自覚を持ち、将来に向けて歩み出すことを誓う節目となっています。

自立の証



子どもから大人へ
成長し、自分の人生を
自分の力で歩む
決意をします。

感謝の心



これまで育ててくれた
家族や支えてくれた
人々への感謝を
伝えます。

未来への希望



夢や目標に向かって、
新たな一歩を
踏み出す日と
なります。

いつ行うの？

成人式は、各自治体によって異なりますが、
一般的には「1月の第2月曜日（成人の日）」の
前日の日曜日に行われます。

※自治体によっては、成人の日当日に
行う場合もあります。



1 式典

市区町村が主催する
式典に参加します。



2 記念撮影

友人や家族と一緒に
写真を撮り、成長を
記念に残します。



3 家族との時間

感謝の気持ちを伝え、
家族とお祝いの
時間を過ごします。



4 同窓会・ 友人との時間

久しぶりに会う友人と
思い出を語り合い、
未来を語ります。



晴れの日の装い

華やかな振袖やスーツを身にまとい、
自分らしいスタイルで成人の日を迎えましょう。

女性

振袖などの和装が
一般的です。



男性

スーツや
紋付袴などが
一般的です。



持ち物の例

- 案内状（はがき）
- 身分証明書（必要な場合）
- ハンカチ・ティッシュ
- お祝いにふさわしい小物（バッグ・アクセサリなど）
- カメラ
- スマートフォン



感謝を伝え、未来を描く日。

成人式は「新しい自分のスタートライン」。
あなたのこれからの人生が、幸せと笑顔で
あふれる素晴らしいものとなりますように。

ご家族でのお祝いにおすすめ

ホテルのお食事プランで、
ご家族の大切な節目を心に残る
特別な一日にしませんか？



一生に一度の大切な日を、心に残る思い出に。

ふたりの未来を誓い合う、大切な約束のしるし

婚約

～お互いの想いを形にし、未来を共に歩む約束～

婚約とは、結婚を前提としてお互いの気持ちを確認め合い、ふたりの未来を共に築いていくことを約束する大切な節目の事です。
お互いを尊重し、支え合いながら歩いていく決意をかたちにし、家族や大切な人たちへ感謝と報告をする時間でもあります。



婚約の意味

お互いの想いを確かめ合う



結婚を前提として、お互いの愛情と信頼を改めて確かめ合います。

結婚への決意を表す



結婚に向けて歩み始めることへの決意を形にし、ふたりの絆をより深める大切な節目です。

家族への報告と感謝



これまで育ててくれた家族へ感謝を伝え、ふたりの新たなスタートを報告します。

未来への約束



これからの人生を共に歩むことを誓い合い、温かく幸せな未来を築いていく約束です。

婚約のしるし



婚約指輪（エンゲージリング）

「永遠の愛」を象徴する指輪を贈り、ふたりの絆の証とします。



婚約記念日・お花

記念の品や花束に想いを込めて、お互いの気持ちを伝え合います。

婚約の一般的な流れ

お互いの気持ちを確認

1 結婚を前提に、ふたりの想いを確かめ合います。

婚約の準備

2 婚約指輪や記念品、顔合せの準備を進めます。

両家への挨拶・顔合わせ

3 両家の家族に婚約の報告をし、親睦を深めます。

婚約の成立

4 お互いの想いと家族の祝福のもと、婚約が成立します。

大切にしたい心構え



思いやりを忘れずに

お互いを尊重し、支え合う気持ちを大切にしましょう。



よく話し合う

価値観や将来の希望を共有し、理解を深めましょう。



家族を大切に

お互いの家族への感謝と敬意を忘れずに、良い関係を築きましょう。



感謝の気持ちを伝える

日々の感謝を言葉や行動で伝え合うことが、幸せな未来につながります。

おふたりの新しい人生のはじまりに

婚約は、ゴールではなく新しい人生のスタートです。
お互いを思いやり、感謝の気持ちを忘れずに、笑顔あふれる幸せな未来を築いていきましょう。

おふたりの未来が、愛と幸せに満ちた素晴らしい日々となりますように。

ふたりの絆が、両家の絆へとつながる大切な儀式

結納・顔合わせ

～感謝と誠意を込めて、両家の未来を結ぶひととき～

結納・顔合わせは、両家が初めて集まり、親睦を深める大切な機会です。

お互いの家族を知り、絆を結ぶことで、
これから始まる新しい家族の第一歩となります。

結納とは

結納は、ふたりの結婚の約束を正式に結び、
両家の絆を深める日本の伝統的な儀式です。
感謝の気持ちを込めて結納品を贈り合い、
両家が親戚としての第一歩を踏み出します。

結納の特徴

- 結納品を取り交わし、結納の約束を正式に結ぶ
- 両家の親族が集まり、格式ある儀式として行う
- 日本の伝統や地域のしきたりを重んじる
- 新しい家族としての絆を深める大切な儀式

顔合わせとは

顔合わせは、両家が初めて集まり、
お互いを紹介し合い、親睦を深める場です。
結納にとらわれず、和やかな雰囲気の中で
これからの家族のつながりを育みます。

顔合わせの特徴

- 両家の紹介と親睦を目的とした食事会
- 結納品のやり取りは行わない（または簡略に行う）
- 和やかで温かな雰囲気の中で行う
- 新しい家族としてのつながりを大切にする

結納の流れ（一般的な例）

- 1 両家の挨拶
両家の代表者が挨拶をし、和やかに会を始めます。
- 2 結納品の受け渡し
結納品を取り交わし、その意味を確認します。
- 3 両家の親睦
食事や会話を通じて、親睦を深めます。
- 4 婚約の確認
ふたりの結婚の約束を改めて確認します。
- 5 記念撮影
両家そろって記念の写真を撮ります。

※地域やご家庭により、形式や流れは異なる場合がございます。

顔合わせの流れ（一般的な例）

- 1 両家の挨拶・紹介
両家の自己紹介を行い、和やかに会を始めます。
- 2 食事・歓談
お食事を楽しみながら、親睦を深めます。
- 3 今後の話し合い
結婚式や日取り、両家の希望などを話し合います。
- 4 婚約の確認
両家そろって記念の写真を撮ります。
- 5 締めめの挨拶
今後の良い関係を願い、会を締めくくります。

項目	結 納	顔 合 わ せ	違いのポイント
目 的	結婚の約束を正式に結ぶ	両家の紹介と親睦	儀式の有無と目的の違い
儀 式	あり（結納品の交換など）	なし（食事会が中心）	形式の違い
結 納 品	あり（目録・熨斗・記念品など）	なし（または簡略に行う）	品物のやり取りの有無
雰 囲 気	格式があり厳か	和やかでカジュアル	雰囲気の違い
服 装	訪問着・礼装など（正式な装い）	スーツ・ワンピースなど（きちんとした装い）	服装の違い
場 所	料亭・ホテル・結納会場など	レストラン・ホテル・自宅など	会場の違い

どちらのスタイルでも、両家の気持ちを大切にすることが何よりも大切です。

感謝の思いやりの心を込めて、素敵な一日をお過ごしください。

ふたりの絆を誓い、感謝を伝える大切な一日

結 婚 式

～新たな人生の始まりを、心をこめて～

結婚式は、ふたりが夫婦として新たな人生を歩み始めることを誓い、これまで大切に育ててくれた家族や、支えてくれた方々へ感謝を伝える場です。お互いを尊重し、支え合い、喜びも困難も分かち合いながら、幸せな家庭を築いていくことを誓う、人生の大切な節目となります。



夫婦の誓い

お互いを人生のパートナーとして誓い、永遠の愛を誓います。



家族への感謝

これまで育ててくれた家族への感謝を伝え、新たな出発を報告します。



絆の証

両家のつながり、ふたつの家族がひとつになる証です。



人生の新たな始まり

ふたりで力を合わせ、温かい家庭を築いていく第一歩となります。



幸せの祈り

大切な人たちに見守られ、幸せな未来を願い、祝福を受ける時間です。

挙式スタイルのご紹介

神前式

伝統を受け継ぎ、神様に夫婦の契りを誓う



神前にて、結婚の報告とこれからの幸せを祈願します。日本の伝統と格式を重んじた、厳かな挙式スタイルです。

特 徴

- ✿ 神職が進行し、雅楽の演奏が入ることも
- ✿ 親族中心の落ち着いた雰囲気
- ✿ 和装が映える、日本らしい挙式

教会式

神様の前で愛を誓い、永遠の愛を約束する



キリスト教の教えに基づき、神様の前でふたりの愛を誓い、永遠の結びつきを約束します。

特 徴

- ✿ 牧師のもとで誓いの言葉を交わす
- ✿ 讃美歌や生演奏が華やかに彩る
- ✿ ウェディングドレスが映える王道スタイル

人前式

ゲストに見守られ、ふたりらしく誓う



形式にとらわれず、参列したゲストの前でふたりが誓い合う、自由で温かい挙式スタイルです。

特 徴

- ✿ 宗教や形式にとらわれない自由なスタイル
- ✿ ふたりらしいオリジナル演出が可能
- ✿ ゲストとの距離が近く、アットホームな雰囲気

結婚式当日の流れ (一般的な例)

◆ お支度



おふたりの準備が始まります。

◆ 挙式



大切な方々に見守られ、永遠の愛を誓います。

◆ フラワーシャワー (またはセレモニー)



祝福の中、新たな一歩を踏み出します。

◆ 披露宴



感謝を伝えながら、楽しいひとときをお過ごしいただけます。

◆ おひらき・送賓



感謝の気持ちを込めて、ゲストをお見送ります。

感謝の気持ちを伝え、大切な方々に見守られながら迎える結婚式。ふたりにとって、そしてゲストにとっても心に残る特別な一日になりますように。

大切な方々と喜びを分かち合う、かけがえのないひととき

披露宴

～感謝を伝え、絆を深める特別な時間～

披露宴は、これまで支えてくれた大切な方々をお招きし、おふたりの新しい人生のスタートをお披露目する場です。

感謝の気持ちを伝え、温かな祝福に包まれながら、これからの未来を共に喜び合う心あたたまる時間となります。



お披露目とご報告

おふたりの結婚を大切な方々にお披露目し、新しい人生のスタートをご報告します。



感謝を伝える場

これまで支えてくださった家族や友人、職場の方々へ感謝の気持ちを伝える大切な機会です。



祝福を分かち合う

大切な方々からの温かい祝福を受け、これからの幸せを共に喜び合います。



絆を深める時間

久しぶりに集う方々との会話やふれあいを楽しみ、大切な絆をより一層深める時間です。



未来への誓い

皆さまに見守られながら、おふたりの未来への決意を新たにする特別なひとときです。

披露宴の一般的な流れ

1

開宴・新郎新婦入場

拍手に包まれておふたりが入場します。披露宴の始まりを華やかに演出します。



2

主賓挨拶・乾杯

主賓のご挨拶・そして乾杯で祝宴がスタート。和やかな雰囲気の中、会話が弾みます。



3

歓談・お食事

お料理を楽しみながら、ゲストとの会話や写真撮影など、思い思いの時間を過ごします。



4

演出（余興・スピーチなど）

ご友人のスピーチや余興、映像出演などで会場が盛り上がり、感動が生まれます。



5

ケーキ入刀・ファーストバイト

ケーキ入刀で幸せを分かち合い、お互いに食べさせ合う演出も人気です。



6

新郎新婦からのご挨拶・花束贈呈

感謝の気持ちを込めたご挨拶と、花束や記念品の贈呈で想いを伝えます。



7

お見送り

ゲスト一人ひとりに感謝を伝えながら、笑顔でお見送りをします。



披露宴の魅力



おもてなしのお料理

心を込めて用意されたお料理で、ゲストをおもてなしします。おふたりらしいメニューで特別感を演出。



おふたりらしい演出

おふたりの個性や思い出を取り入れた演出で、ゲストの心に残る、感動のひとときをつくることができます。



ゲストとのふれあい

写真撮影やお話の時間を大切にすることで、一人ひとりとのつながりを感じられる温かな時間になります。



感謝の気持ちをカタチに

引出物やプチギフトに感謝の想いを込めて、「ありがとう」をカタチにしてお渡しすることができます。

「ありがとう」の気持ちが、
一生の思い出になる日

大切な方々と過ごす時間は、おふたりにとっても、ゲストにとってもかけがえのない宝物になります。心を込めておもてなしをし、笑顔あふれる素敵な一日をお過ごしください。



おふたりの未来が、愛と幸せに満ちたものとなりますように。

ふたりの歩みをたたえ、これからの未来を祝福する日

結婚記念日

～感謝を伝え、絆を深める大切な記念日～

結婚記念日は、ふたりが夫婦として歩んできた日々を振り返り、
支え合ってきたことに感謝し合う大切な節目です。
喜びも、時には困難も共に乗り越えてきた証をたたえ、
これからも変わらぬ愛情と絆を育んでいくための日です。
お互いへの「ありがとう」を伝え、未来への新たな一歩を
踏み出すきっかけにしましょう。

結婚記念日の意味



感謝を伝える日

支え合い、共に歩んできた
日々感謝し合い、
言葉にして伝える大切な日。



絆を深める

これまでの歩みを振り返り、
お互いの存在の大切さを
再確認する日。



思い出を重ねる日

ふたりだけの思い出を積み重ね、
家族としての歴史を
作っていく日。



未来を誓い合う日

これからの未来に向けて、
変わらぬ愛を誓い、
新たな目標を共有する日。



家族の絆を育む日

ふたりだけでなく、
家族みんなのつながりを
大切にする日。

主な結婚記念日の名称と意味

1年目	紙婚式	紙のように白く、これからの未来を描いていく
5年目	木婚式	樹木のように根を張り、安定した絆を築く
10年目	錫婚式	錫のように柔らかく、しなやかな関係に
15年目	水晶婚式	水晶のように透明で、信頼が輝く
20年目	磁器婚式	磁器のように美しく、強い絆を育む
25年目	銀婚式	銀のように輝き、価値のある時間を重ねる
30年目	真珠婚式	真珠のように美しく、気品ある絆に
35年目	珊瑚婚式	珊瑚のように深く、長い年月を重ねる
40年目	ルビー婚式	ルビーのように深く、情熱ある愛を育む
45年目	サファイア婚式	サファイアのように誠実で、深い信頼を築く
50年目	金婚式	金のように輝かしく、かけがえのない絆に
55年目	エメラルド婚式	エメラルドのように豊かで、深い愛情を育む
60年目	ダイヤモンド婚式	ダイヤモンドのように固く、輝き続ける絆に

結婚記念日の過ごし方



ふたりで食事を楽しむ

お気に入りのレストランや思い出の場所で、
ゆっくりと会話を楽しみましょう。



記念のプレゼントを贈る

感謝の気持ちを込めて、花やアクセサリなど
心のこもった贈り物を。



思い出を振り返る

写真やアルバムを見返したり、これまでの
歩みを語り合いましょう。



手紙やメッセージを伝える

普段は照れくさくて言えない想いを、
手紙にして伝えてみましょう。



家族でお祝いする

お子さまやご家族と一緒に、
感謝と喜びを分かち合う時間を。

ひとつひとつの記念日が、ふたりの宝物。

これからも、愛と感謝を忘れずに、笑顔あふれる日々を重ねていきましょう。

人生の節目を祝う、感謝と長寿の願いを込めて

長寿のお祝い

長寿のお祝いは、これまでの人生をねぎらい、健康や幸せを願う大切な日本の伝統行事です。

家族や親しい方々と集い、感謝の気持ちを伝え、これからも元気で笑顔あふれる日々が続くことを願い、お祝いします。

長寿祝いの意味



感謝を伝える日

これまで支えてくれたご本人への感謝を伝え、労をねぎらう日です。



健康と長寿を願う

これからも健やかで、幸せな日々が続くように願いを込めます。



家族の絆を深める

家族や親戚が集い、思い出を語り合う大切な機会です。



新たな人生の始まり

これまでの人生に感謝し、これからの時間をより豊かに過ごす新たな節目です。

ちゃんちゃんこを着る意味



長寿祝いでちゃんちゃんこを着るのは、

「赤ちゃんに還る（還暦を迎える）」という意味が由来です。

昔の日本では、60年で干支（十干十二支）が一巡し、生まれた年の暦に戻ることから

「暦が還る」＝還暦と呼ばれるようになりました。

人生をひと巡りしたことで、新たな人生の始まりを迎えるという考えがあり、

赤いちゃんちゃんこや頭巾を身に着けて「もう一度生まれ変わり、

これからも元気に長生きしてください」という願いを込めてお祝いします。

なぜ赤色なの？

赤ちゃんの産着が赤だったこと、赤色には魔除け・厄除けの力があると信じられていたことから、赤色が使われています。

長寿祝いの一覧

年齢(数え年)	お祝いの名称	意味・由来	お祝いの色・衣装
61歳	還暦 (かんれき)	生まれた年の干支に還ることから「本来の暦に還る・新たな人生の始まり」とされます。	赤色 
70歳	古稀 (こき)	唐の詩人・杜甫の「人生七十古来稀なり」に由来し、七十歳を迎えることは大変めでたいこととされます。	紫色 
77歳	喜寿 (きじゅ)	「喜」の字を草書体で書くと七十七と読めることに由来します。	紫色 
80歳	傘寿 (さんじゅ)	「傘」の略字が八十と読めることに由来します。	黄色または紫色 
88歳	米寿 (まいじゅ)	「米」の字を分解すると八十八になることに由来します。	黄色 
90歳	卒寿 (そっじゅ)	「卒」の字の略字が九十と読めることに由来します。	紫色または白色 
99歳	白寿 (はくじゅ)	「百」の字から一を取ると「白」になることに由来します。	白色 
100歳	百寿 (ひゃくじゅ)	百歳を迎えることは、まさに人生の大きな節目。これまでの人生に感謝し、これからも長くお元気でいてほしいという願いが込められます。	白色または桃色 

長い人生は、たくさんの出会いや経験の積み重ね。

これまでの歩みに感謝し、これからも笑顔で健やかな毎日をお過ごしください。

厄払い・厄除け

～心身を清め、幸運を招くために～



厄払い・厄除けは、人生の節目や厄年などに訪れる
災いや困難を祓い、心身を清めて運気を整える大切な習わしです。
ご自身や大切な方の健康・安全・幸運を願い、
新たな気持ちで前向きな一歩を踏み出すための行事です。

祈祷神社

厄除祈願

厄除け

厄払い・厄除けの意味

祓う

災いや不運を祓う

知らず知らずのうちに身についた
穢れや災いを祓い、心身を清めます。



守る

運気を整え、守る

厄を払うことで、運気の流れを整え、
災いが起こりにくい穏やかな状態へ導きます。

願う

幸運・健康・安全を願う

新たな一歩を踏み出すために、
未来への希望と自信をつなげます。



厄年・大厄の年齢

	男性	女性	
前厄	24 歳	18 歳	厄の影響が出る 前の年
本厄	25 歳	19 歳	厄の影響を 受けやすい年
大厄	42 歳	33 歳	もっとも厄の影響が 強い年
後厄	61 歳	37 歳	厄の影響が 残る年



厄年とは？

厄年とは、心身の変化や環境の変化が起こりやすく、
災いや病気、事故などに見舞われやすいとされる年齢のことです。

男女それぞれに「厄が巡る年齢」があり、
特に大厄は最も注意が必要とされています。

主な厄の例



健康運の
低下



事故・災害の
リスク



人間関係の
トラブル



金運の
不調

厄払い・厄除けの流れ

1



準備

神社にて祈願の
予約をします。

2



参拝・受付

神社にて受付を済ませ、
本殿に参拝します。

3



祈祷

祝詞をあげていただき、
厄を祓い清めます。

4



お礼・お守り授与

ご祈祷後、お礼やお守りを
授与されます。

5



日々の感謝と祈り

日常生活の中で感謝を忘れず、
お守りを身につけ心がけます。

厄を祓い、清らかな心で毎日を健やかに、幸せにお過ごしください。



新ロイヤルホテル四万十

〒787-0029

高知県四万十市中村小姓町26番地

<http://www.nrh-shimanto.co.jp>

Tel 0880-35-1000

Fax 0880-35-1008

●お問い合わせ・ご予約は

直通ダイヤル

tel:0880-35-1055

新ロイヤル

検索